

2020年1月16日

新幹線札幌駅について

新幹線札幌駅の計画に関して、鉄道・運輸機構より委託を受けて進めている設計等の進捗、および、北5西1街区の再開発との調整により、以下の内容に基づき、今後詳細な検討を進めることとしましたのでお知らせします。

なお、今後詳細な検討による計画の精査完了後、新幹線工事（下記の1. 及び2.）に関しては、建設主体である鉄道・運輸機構が必要な工事実施計画の変更手続きを行うこととなります。

【計画変更案の内容】

2018年（平成30年）3月29日に開催された「北海道新幹線札幌駅ホーム位置に係る調整会議」（北海道、札幌市、鉄道・運輸機構、国土交通省、当社）における確認事項に基づく現計画から以下の内容を変更する。

1. 新幹線専用改札の位置（図1）

お客様の分かり易さを考慮し、新幹線専用改札を1階から3階に変更し、在来線改札、幹在乗換改札と同じフロアに集約する。さらに、再開発ビルと接続することによりバス、地下鉄、タクシーとの交通結節機能を確保する。あわせて、交通広場の利便性も高める。

2. 新幹線平面線形、ホームの位置（図2）

札幌市とともに検討を行うこととしている創成東地区への新幹線東改札設置が容易となることから、新幹線の平面線形を見直し、新幹線下りホームの位置を南側に約1.5m、東側に約25m移動する。これに伴い、上下ホームの幅員についても変更する。

3. 在来線乗換跨線橋の位置（図3）

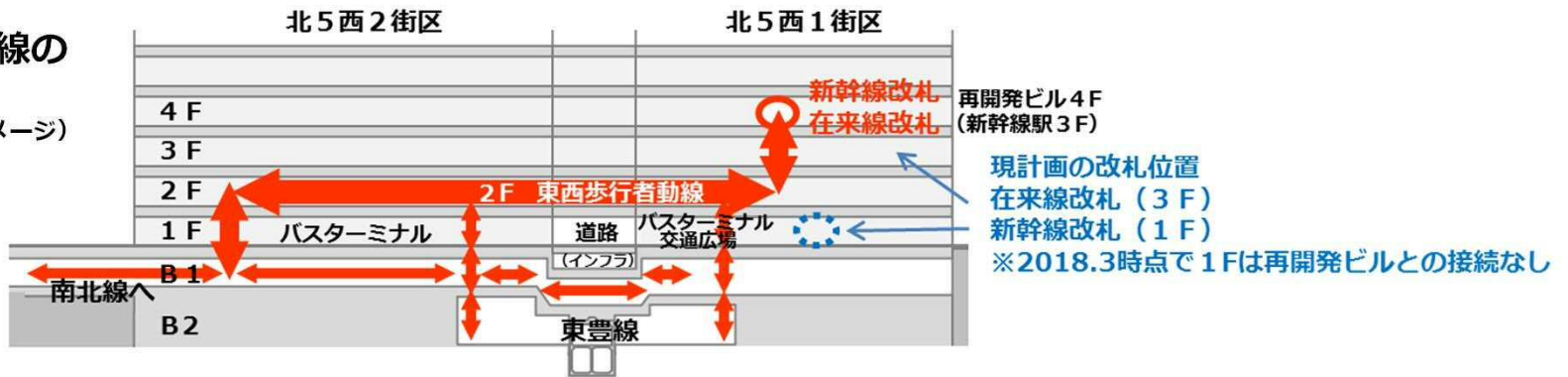
乗換跨線橋および在来線ホーム接続部の通路幅を広くできる構造とするために、乗換跨線橋の位置を現計画から約50m西側（在来線のホーム中心側）とする。これに伴い、東西連絡通路が約50m延びる。

なお、詳細な設計は今後実施することとなりますが、現時点で工期・工事費については現計画の範囲で収まる見込みです。

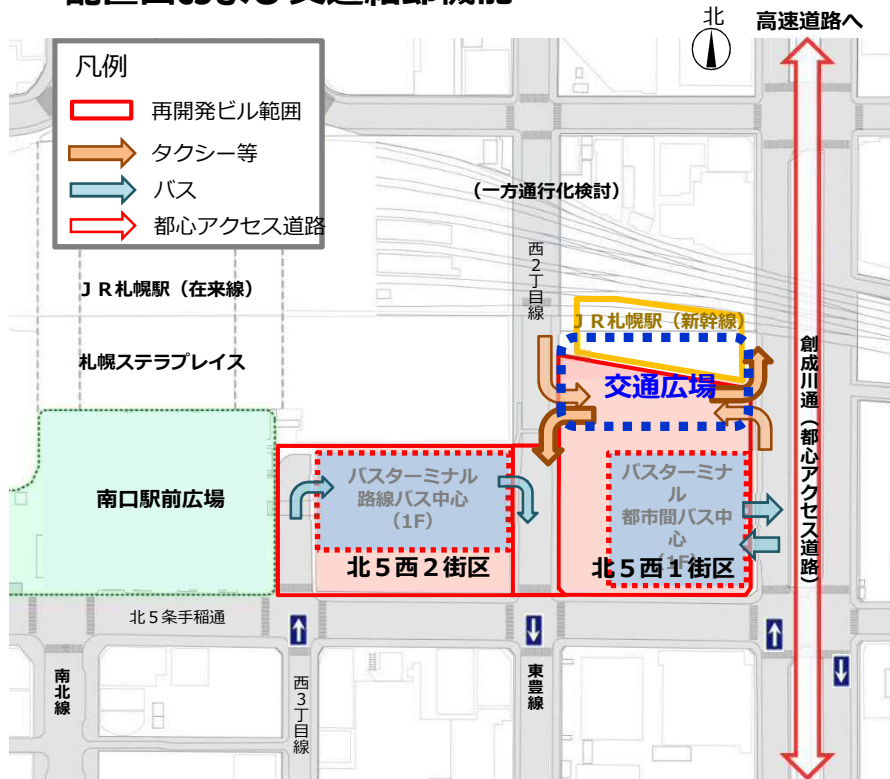
1. 新幹線専用改札の位置 [交通広場及び北5西1街区の再開発との調整]

(図1)

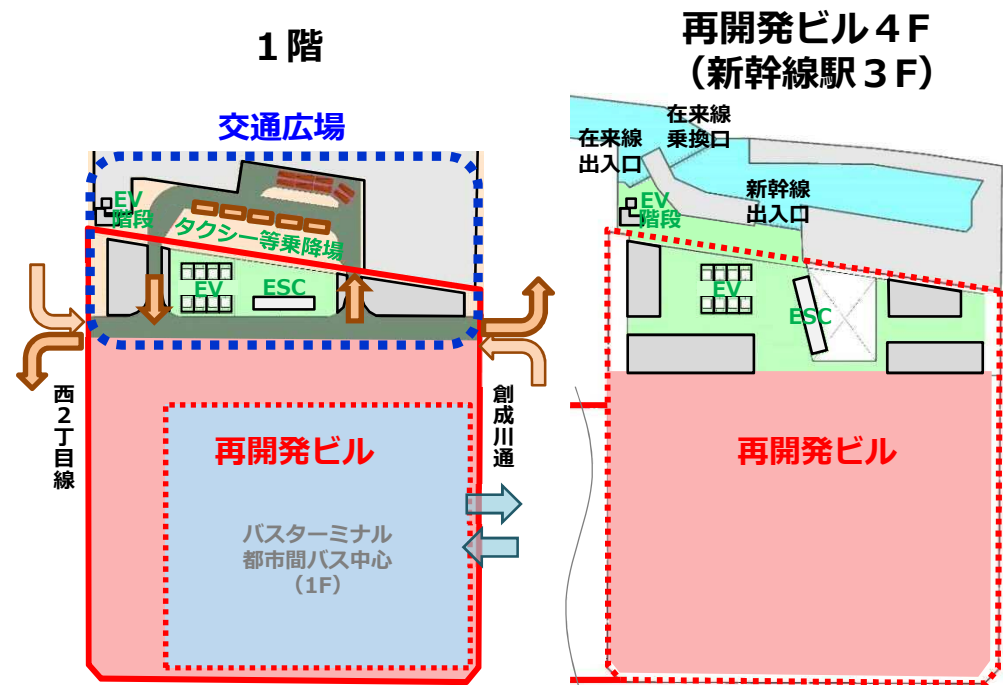
主な歩行者動線のイメージ
(東西方向の断面イメージ)



配置図および交通結節機能



北5西1街区平面図

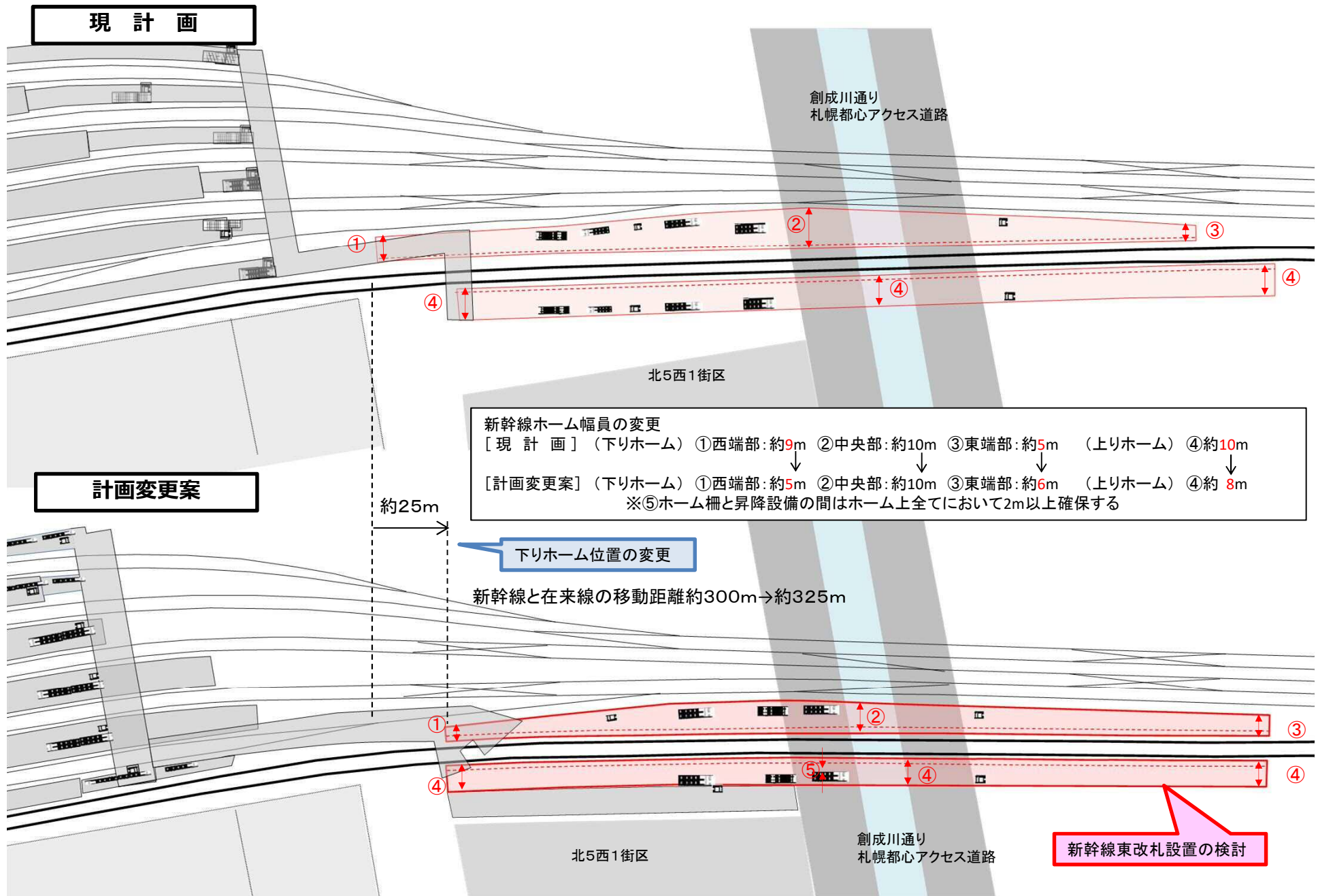


図版はイメージであり今後変更となることがあります

※旅客のスムーズな流動、利便性を最大限確保するよう、今後詳細な検討を行う

2. 新幹線平面線形、ホームの位置

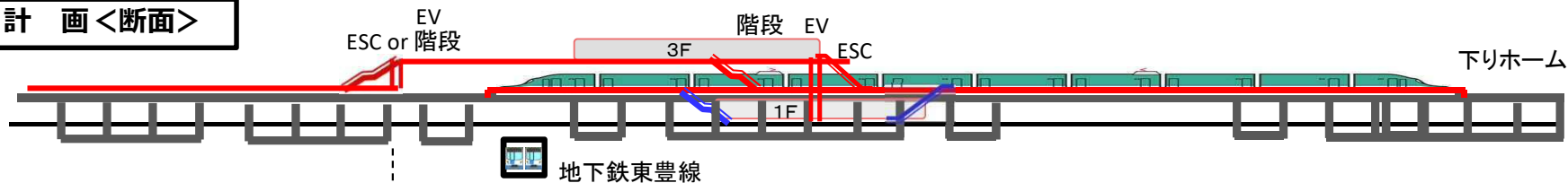
(図2)



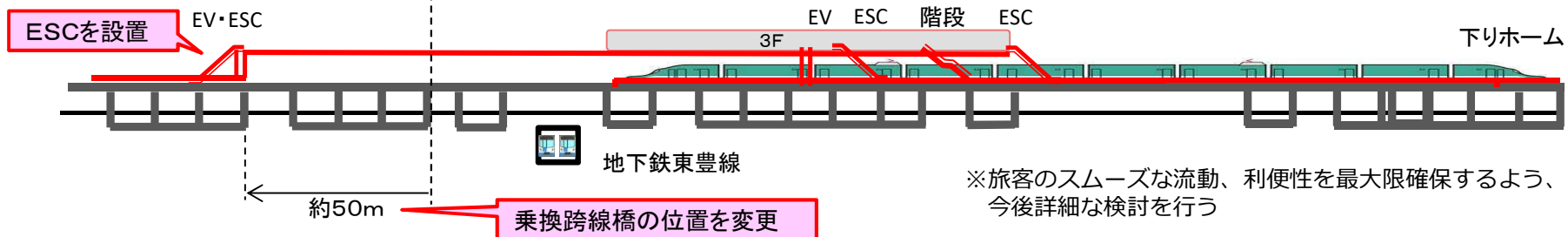
3. 在来線乗換跨線橋の位置

(図3)

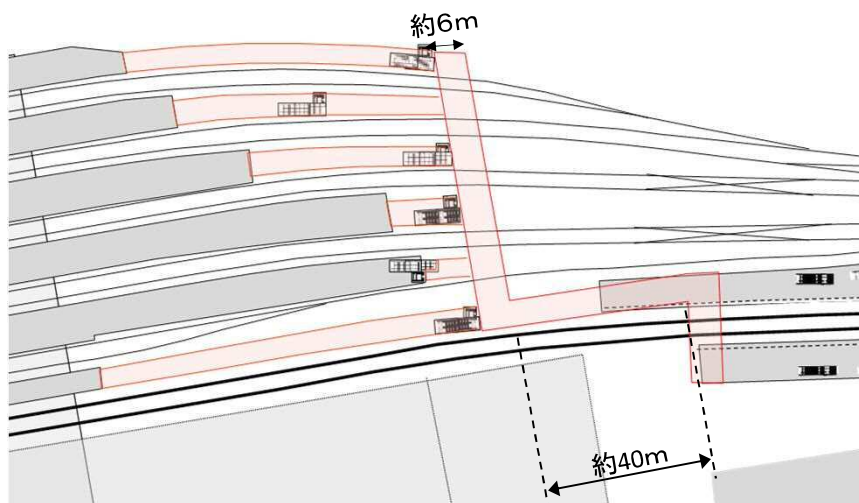
現 計 画 <断面>



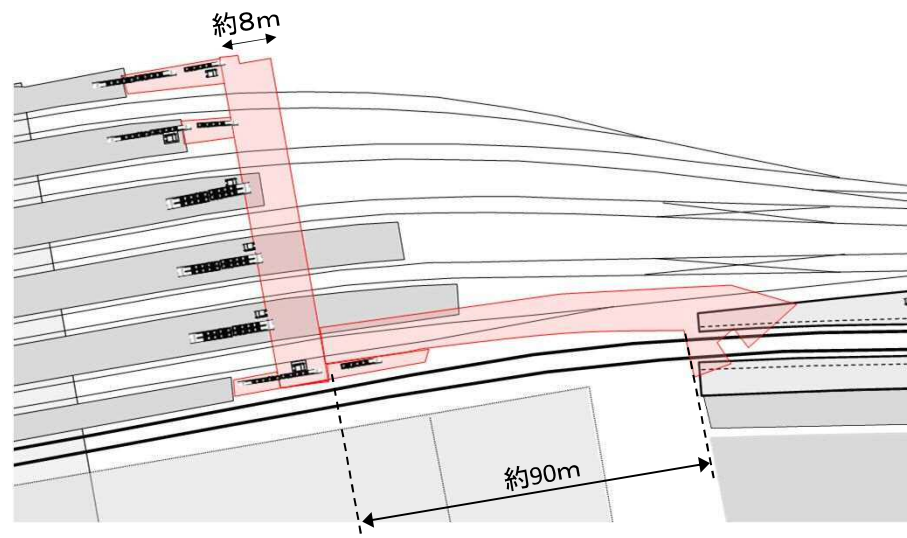
計画変更案 <断面>



現 計 画 <平面>



計画変更案 <平面>



新幹線駅と再開発ビルとの接続部イメージ

新幹線とビル内が相互に見えるアトリウム空間（北5西1街区）

図版はイメージであり今後変更となる可能性があります

今後、新幹線駅舎の設計を行うため、図版は設計を反映したものではありません

